

専門学校文化デザイナー学院

Bunka

広告プロモーションデザイン学科 2年次修了制作課題

生まれ変わる常陸大宮駅前商店街の空間活用プロジェクト

豊原柚月 | Yudoku toyohara



常陸大宮駅前商店街  
出会うまち。  
季節を伝える枝物に

#### A 常陸大宮の地域資源・価値

枝物250種の出荷があり一年中様々な種類の枝物を楽しむことができる。常陸大宮は木が特産品になっているので木を使って地元の木をアピールできる。

#### C 空間の活用内容・トーン

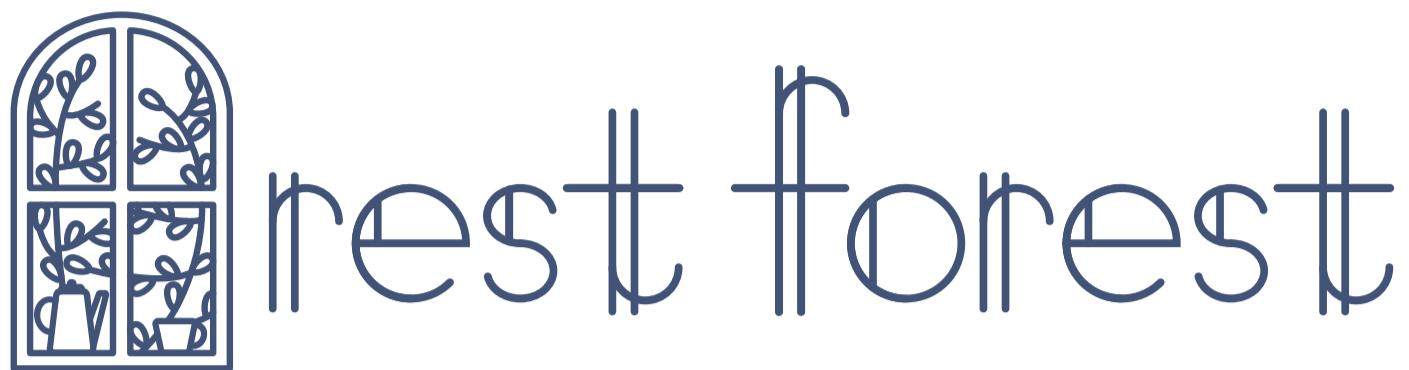
ビューティーサロンノガミさんを使ってカフェを開く二階ではワークショップができるようにする。内装や食器に木材を使い自然を感じるようにする。

#### B ターゲットのペルソナ・ニーズ

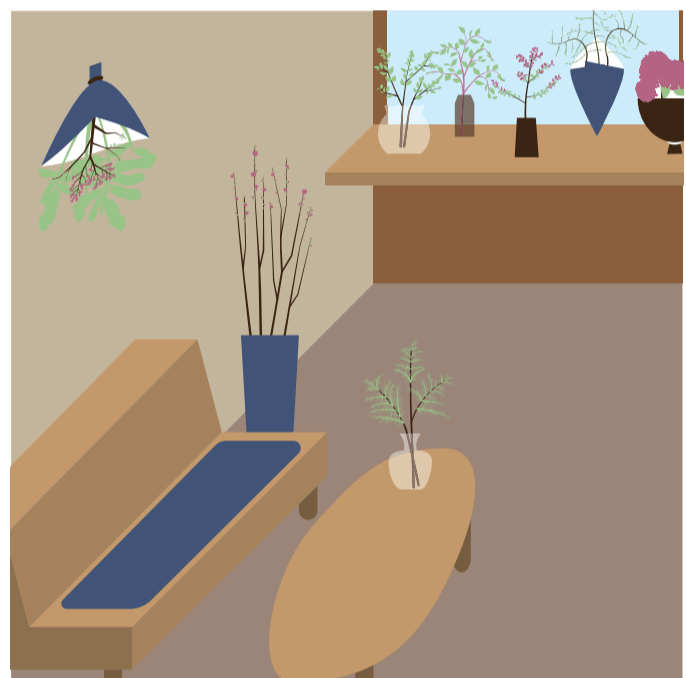
30代~40代の子育ての女性をターゲットとしておしゃれな休憩場所にする。食べ物にも常陸大宮の特産品を使いながら、美容に気を使ったものにする。

#### D 実現したい象徴的な場面

ヘルスロードを歩いて疲れた一休になってどこかで休憩しようと思ったときにふらっとよれて自然に囲まれた空間を飲み物などを飲みながら休める。



# rest forest



## お店の内装 商品

『rest forest』というお店の名前は森で休むという意味でロゴマークには部屋の中に枝が伸びていて飲み物を飲みながら枝に囲まれてゆっくりできるようなロゴマークにしました。また、お店は夜になるとお店の光が漏れ道が明るくなるようにしました。お店の中は壁や食器、机などに木を使い、落ち着ける雰囲気になりました。枝物を使ったリースやブーケを販売しています。



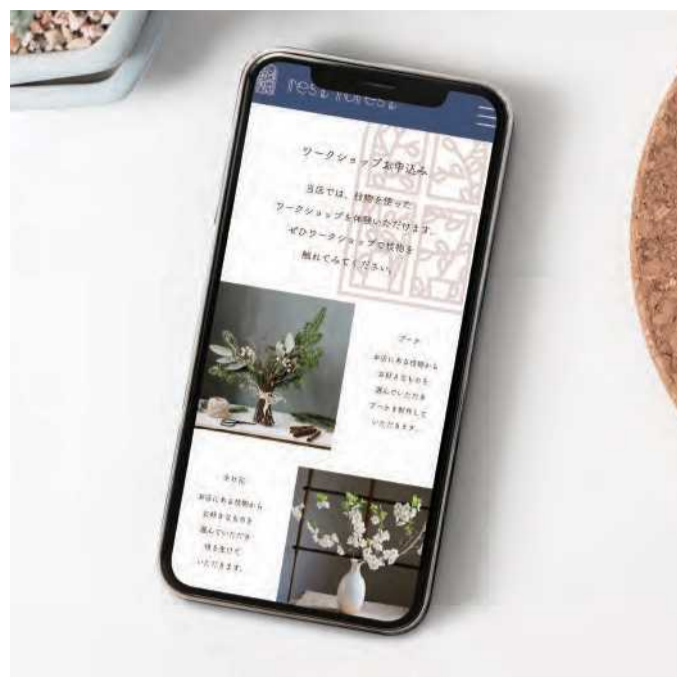
### ワークショップ

rest forestではワークショップが体験があり、ブーケの作りや生け花体験をすることができます。さらに天気のいい日は、外の歩道に机を出して外でワークショップを開いて街の人と交流しながら作業することができます。



### 生け花大会 駅への生け花設置

ワークショップで作った生け花や自宅など個人で作った生け花の作品をヘルスロードに飾り、大会を開催することで、街の人でも作品の投票に参加してもらい、さらに交流を深める行事を開催します。常陸大宮駅が近いので駅の前やなかに大きい枝物の生け花を置くことでお店の宣伝や、駅の中で自然を楽しむことができます。



### ウェブサイト画面

パソコンのウェブサイトの画面は、ホームページになっています。ホーム画面なのでカフェの店内の様子分かるような写真にしました。スマホの方の画面はワークショップの申し込み画面になっていて、ブーケ作りと生け花体験が分かりやすいようにしました。



### エプロン ショップカード 紙袋

ショップカードは両面端にロゴマークを半分ずつ入れて裏と表の統一感を出しました。エプロンは食品とワークショップをするのに色反対にして分かりやすくしました。全体の色を揃えて落ち着いた雰囲気になりました。